



1/素潜り実演を見学するツアー参加者 2/水深が5m以上ある岩場からウニを採り笑顔 3/合わせて50個ほど収穫。腰からヤツカリを下げた欠畑さん(右)と根井さん(左) 4/採れたてのウニをその場でさばいて販売 5/「新鮮でおいしい」とウニを頬張るツアー参加者 6/笑顔でツアー客を見送る海女センターの職員

小袖海女センター 3年ぶり素潜り実演

海 女の素潜り実演が小袖海女センターで行われ、初日となった7月3日は、ツアー客27人が見学しました。

海女の欠畑美也子さんと根井理帆さんが、低い海水温にもかかわらず、何度も水中に潜り、笑顔で両手に抱えたウニを披露。ヤツカリいっぱいウニを腰から下げて海から上がると、大きな拍手があがりました。

採れたてのウニは、その場で食えることができ、見学者は目の前でさばかれた新鮮なウニを、おいしそうに頬張りました。

欠畑さんは「海流が緩やかで潜ることができて良かったです。久しぶりの海はとにかく楽しくて参加者から元気をもらいました。今年は海藻が多く、ウニは甘みが強くて身がきれいです。皆さんぜひ来てください」と声を弾ませました。

素潜りの実演は9月まで開催され、10人以上の団体予約を受け入れています。見学を希望する人は7日前までに小袖海女センターへ予約をお願いします。



三鉄に乗って落書きを見つけよう

7月8日、赤井英和さん夫妻が、8月にBSテレ東で放送される「ガタンゴトン駅弁 ローカル線食材探し旅」の撮影のため、久慈を訪問。英和さんは「三陸鉄道楽しかったです。温かさを感じました。田野畑駅と田老駅のノートに落書きをしたので、鉄道を利用して発見してください」と述べました。

わくわく出前水族館

7月11日、宇部小学校1、2年生の児童14人が、もぐらんぴあ出前水族館を楽しみました。

さかなクンが作成したクイズに挑戦。正解が発表されると教室中に歓声があがり、もぐらんぴあの飼育員の面白い解説に目を輝かせました。

カニやヒトデなどに触れることのできるコーナーでは、こわごわ見つけていた児童も素手で生き物を捕まえ笑顔。実際に触れることで生き物への理解を深めました。

1年の瀧山大善君は「珍しい魚や少し怖いと思った魚もいたけど楽しかったです」と笑顔を浮かべました。



展示された水槽を観察する児童

